



2007 年 3 月 1 日発行
発行人：徳丸 公義
発行所：神戸市中央区海岸通 8
神港ビルヂング 5 階 509
TEL：078-393-0050
FAX：078-393-0051
E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
URL：<http://www.kobekeio.org/>
編集：堀 友子

～2 月例会報告～

城口 隆 (昭 56 経)

皆さんご無沙汰しております。岡山が実家なのに神戸に家族が住み、仕事は岡山という逆単身の城口です。一作年から、子供の大学・中学のW受験のせいで神戸の家に居場所が無く、岡山で一人暮らしをすることが多くなっていて神戸慶應倶楽部にも参加できずにいましたが、今回幹事の松尾さんから一度ならず二度までお誘いを頂き、久々に例会に参加出来ました。松尾さんの熱心な勧誘のお陰だろうと思いますが、不動産三田会からの参加者も加えて総勢 60 名の参加人数で、和田興産 (株) WADA ホールにて 2 月例会が開催されました。サブタイトルに、「にごり酒を楽しむ会」と銘打ち、辰馬本家酒造、ヤエガキ酒造、万代大澤醸造さんの協賛を得て、原則として酒類持ち込み禁止の WADA ホールに、和田社長のご厚意に甘え一升瓶を持ち込んでの例会でした。

広瀬会長の大阪慶應義塾の話題や 150 周年の寄付のお願いのご挨拶と、参加者最年長の黄先輩の乾杯の発声で開会しました。

料理はポートピアホテルから特別に持ち込まれたものでしたが、酒の肴には少々上品なしつらえであったため、あつという間に料理が無くなり、近く中華料理店から出前を急遽頼んだのはご愛敬だったと思います。

昨年に酒蔵を再開された万代大澤醸造の大澤社長には、社長自ら当日に詰めた本当の「しぼりたて」を持ち込んで頂きました。搾り立てのお酒は、

まだ発酵途中で一升瓶の栓には空気抜きの穴が空いているという正に今の時期にしかないプレミアムなお酒だそうです。呑んでみると思った以上にアルコールがきついと感じましたが、非常に美味しいと感じました。

途中石崎さん司会のビンゴゲームで更なる盛り上がりがあり、阪本副会長の締め挨拶の後、応援指導部のユニフォームに着替えた松尾幹事が自らエールを切って若き血を合唱し閉会となりました。ただ、いつもならこれで解散ですが、料理皿やグラスの片付けを広瀬会長、五代前会長も率先して行われ、多少はお酒の匂いが残ったかもしれませんが、WADA ホールを綺麗にしてお返しできたのではないかと思います。



～2007 年度関西合同三田会役員総会開催～

神戸慶應倶楽部会長 広瀬 努

標記の会が 2 月 9 日スイスホテル南海大阪で行われました。慶應義塾から森常任理事、大下塾員センター部長が来賓でこられ、1 月の福澤先生誕生記念祝賀会で安西塾長がお話をされて反響の大きかった大阪慶應義塾の状況、そして共立薬科大学との統合、募金状況、150 周年の記念工事の進行状況、入試の受験者の増加などの報告があり、銭高会長のご挨拶のあと関西合同三田会の 2006 年度の泉州での決算報告のあと和歌山の海瀬会長から 2007 年度の開催予定、慶友会の永田会長から 40 周年記念式典の案内もあり、出席要請がありました。芦屋の中橋会長、宝塚の野田会長、婦人三田会の大原会長、姫路の後藤幹事長など新役員のご紹介とあいさつがあり、40 名ほどでしたが親しく交流できる楽しい会でした。



「緒方洪庵」に学ぶこと (その二)

浦上 忠文 (昭44政)

「適塾の人々」が出版されたあくる年、昭和二十年は、語るのもつらい一年だった。

三月に東京が大空襲を受け、八月には、広島と長崎に原爆が落とされた。広島の日未明、父の住んでいた西宮市が、空襲を受けた。洪庵研究の、すべての資料は灰になった。

適塾は、度重なる大阪空襲に耐え、奇跡的に焼けないですんだ。

「適塾の人々」は、後に適塾研究の基本テキストになったと聞いた。父の熱意は、間一髪、時代を超えることが出来たのだった。

あくる年、昭和二十一年四月。洪庵と同じ足守の地に、私は生を受けた。洪庵生誕地から百メートルほど東の、祖父宅浦上医院、一家の疎開先である。祖父は、洪庵生誕記念碑建立に走り回った人であった。郡の医師会長を務めていた。

洪庵生誕地は、幼時の遊び場だった。兄たちに付いて、蟬取りやトンボ釣りに親しんだ。「洪庵さんとこに行っとったんか。おおきゅうなったら洪庵さんのよう

な人になれるで」が、笑顔の祖母の口ぐせだった。

昭和二十五年五月。一家は、ようやく落ち着きを取り戻した大阪に移り住んだ。堂島にあった、毎日新聞の社宅である。直ぐそばの新聞社屋上の空では、伝書鳩が記事を運ぶ訓練を受けていた。北新地の路地や、中の島公園が遊び場だった。近くに適塾があった。時々、前を通った。兄たちが「ここが洪庵さんがおったとこやで」と、教えてくれた。緒方洪庵は、いつも私の傍らにいる偉人となった。

ここまでが、前置きである。これより本題に入る。

世のために尽くした人の一生ほど美しいものはない、と私は思う。

世のために尽くそう、と行動する人は、どういう考えを持つ人だろうか。それは、人から受けた感謝を忘れない人だろう。人から受けた恩をバネにして、世の中に恩返しをしようと思う人だろう。少年時代から「適塾の人々」本に親しみ、長じて、洪庵の研究を深めるにつれ、洪庵は「恩返し」に生きた人々の代表選手

である。と確信したのである。人生のお手本である。

洪庵は、幕末に近い千八百十年(文化七年)八月に、足守藩下級武士の三男に生まれた。洪庵十三歳の秋、穏やかな純農村の町に、劇的な恐怖が襲ってきた。コレラである。あれよあれよと思うまもなく、どんな手当てもかいがなく、死骸の山を築いていく悲劇を前にして、洪庵のあわれみ深い心はゆすぶられた。ただ手をこまねいている医家たちのふがいなきを前にして、医の道こそ自分の歩む道であると、小さな体に強く誓ったのだった。

「勉強のためには、大阪へ出なくてはならない」父に申し出たが、父は「武士の子が・・・」と許さない。反対されればされるほど、医家志願の思いは、狂おしいほどわき上がってくる。もはや、ふつうの手段では及ばないと考えた洪庵は、決心した。

「大阪を目指す必死の決意の置手紙」を、そっと父の机の上に置き、洪庵は、ただひとり、ひそやかに足守の地を離れた。洪庵、十六歳の夏のことである。

(続く)

会員だより

《神戸ダウンタウン・長田を歩いてみませんか?》

河野 忠友 (平1商)

およそ神戸のお洒落な雰囲気からは程遠い、靴工場のカチャンという裁断音、ゴム工場の煙突から吐き出される煙、焼肉店には強烈な臭いが充満し、ガキ大将たちが路地ではしゃいでいる、私の職場がある長田のイメージはこんな感じでしょう。一方長田は実に1800年もの歴史を持つ長田神社の門前町でもあり、神戸三社(生田・湊川・長田)で最も由緒ある神社と云われています。節分に行われる神事「追難式」は古式ゆかしく一見の価値があります。さらに私の出身高でもある県立長田高校は旧制三中時代に映画評論家の淀川長治さんや、宮崎辰雄元市長さんほか多くの著名人を輩出しています。妹尾河童の「少年H」にも三中が登場する件があります。このように長田には猥雑な下町文化と文教的側面が混在する不思議タウンなのです。

私の仕事は長田の地場産業である靴づくり。そのために長田へ戻り15年近く経ちましたが、人情味溢れ、またアジア各国の文化が交錯する長田は実に面白く、また実に美味しいところでもあります。

靴の町長田のシンボル「シューズプラザ」ではオーダーメイド職人が世界に1足しかない靴を作ってくれます。また全国的にも有名になった「そばメシ」や「スジ入りお好み焼」は「ばらソース」で食するのがジモティー流。他にも「平壤冷麺屋」の辛辛のピビン麺は絶品ですし明石で水揚げされた昼網のお魚は安くて旨いのが当たり前。最近ではベトナム人が経営するベトナム料理店ができたりにして、さしずめアジアB級グルメのフードコートのようなようです。

ここでひとつ豆知識です。今や全国区の知名度になった長田名物の「そばメシ」ですが誕生秘話をご存知ですか?実は靴の町と密接な関係があるのです。時は高度成長期、長田の靴は米国などに輸出され町は大活況を呈していました。当時靴製造を支えていたのが貼工と呼ばれる女工さんたち。朝から晩まで靴を作り続けました。子供達が放課後帰宅してもお母さんはまだ仕事で夕食の時間

はまだ先。そこで朝の残りのご飯を近所のお好み焼屋さんに持ち込んで焼き飯を作ってもらって空腹を満たせるおやつにしていたのです。そのうち焼きそばと一緒に混ぜたらもっと美味しいやん!という子供の発想からそばメシが誕生したのです。

こんなところですが是非一度新長田駅、高速長田駅で下車され、普段着で楽しめる不思議ダウンタウン長田を歩いてみては如何でしょうか。新しい魅力に触れ合うこと請け合いです。

ご案内は神戸慶應倶楽部長田ナビゲーター河野忠友でした。

《香港にて》

小林 大祐 (平11商)

昨年9月に入会させていただきました、香港在住の小林でございます。旧正月のお休みをつかって書いてみました。

香港では、旧正月の典型的な挨拶は「恭喜發財」(ゴンフエイファーチョイ)といえます。新年にあたって、相手の金まわりがよくなることを願い、祝ってあげるわけです。日本ではちょっと考えられない新年の挨拶ですが、中華圏ではお金をもうけることに対する考え方がオープンであることをよくあらわしているといえます。

今、香港経済は中国本土ビジネスの需要をうまく取り込み、好景気が続いています。昨年度は中国系企業の香港株式市場への上場も相次ぎました。このように今、香港は資金を調達したい中国系企業と中国への投資を拡大したい外国人投資家の橋渡し役としての役割をうまく果たしています。例えば、史上最大規模だった中国工商銀行のような大型上場案件ともなると、我先にと申し込みをする人で町中の銀行に長蛇の列ができました。その倍率たるや100倍近くにもなり、老若男女問わず、香港中の人が申し込んでいたのではないかと思わせる熱狂ぶりでした。

マネーゲームの過熱には注意が必要ですが、香港人の場合、これまでの経験と十分な知識に裏づけされていることも多く、大変勉強になります。新規上場株式はもとより、ベトナム、インドといった新興国にも早い段階から積極的に投資してい

る人が多くいました。そして富裕層に関していえば、現在の財産をいかに次世代に継承するかということにも真剣に取り組んでいます。

日本は低金利政策が長く継続されていることもあり、金融資産からの収入を増やしていくというよりは、いかに金融資産を減らさないか、またどのように事業からの収入を増やすかということに主眼がおかれています。

しかしながら高齢化社会を控え、国内の労働人口が減少の一途をたどる中、金融資産からの収入、それも海外における投資機会を逃さずとらえることがこれからますます重要になってくると考えられます。海外における金融資産からの収益を国内に還元することで、個人の家計が潤うばかりでなく、国家財政収支もバランスが取れるという、そのような時代が近く来るのではないのでしょうか。

そしてそのような時代が来たとき、私たちが相手とするのは、お金に関して大変敏感な、リスクを取ることをいとわない中華圏の人々なのだとことを肝に銘じていなければいけません。その時のためにも、常日頃から世界に散らばる投資機会を逃さない目を養っていることが欠かせないと思われま

同好会だより

囲碁同好会

2月2日(金) 遅めの新年宴会を阪急六甲駅近くの「せーむ・せーむ」で行いました。8人参加。宴会というものの碁が中心。それも連碁。普通は1対1ですが2対2。4人が自分勝手なことを考えて打つ。その上酒が入っているから大胆な手を連発。とんでもない方向へ進む。まあ一訳分かりません。

日頃はじいーっと黙って打つのが礼儀ですが、その日は口をはさむし、爆笑また爆笑。

最後に4人対4人の連碁。うーん解説しようがない。参りました。

2月12日(月) 芦屋の「阪神囲碁クラブ」でカネボウ囲碁愛好会と親睦会。

初めての対戦でしたのでお互いの実力が分からず、戸惑うところもありましたが、和気藹々と楽しい碁会となる。カネボウの大將に女流が出てき

たのにはビックリ。これを機会に継続的に行うことに決まる。

今回は4月22日(日)「カネボウ宝塚保養所」にて。世話人：菊田義正(昭42商)

KKJC

《團 裕子さんがソネに初出演》

垣屋 高文(昭39経)

我らが慶應の歌姫 團裕子さんが2月25日(日)三宮ソネの“昼下がりのジャズライブ”に初出演したので、KKJC中心の11名で、聴きに行ってきました。

ソネは日本ジャズ発祥の地神戸、いや関西を代表するライブハウスです。収容人員の多さもさることながら、食事も出来、ミュージックチャージが900円と日本一安いのも客が多い要因でしょう。

そのソネが1、2年前から毎週日曜日午後“昼下がりのジャズライブ”を始めました。これは新人ジャズミュージシャンに登場の場を与えようというママさんの発想によるもので、料金は1ドリンク付で@1,000円と言う安さです。このソネの出演が決まった時、團さんは夢みたいと喜んでいました。

さて、当日14時演奏開始、糸原摩理トリオの演奏の後、團さんが登場。その時客は100人くらい入って

いましたが、通常客が多いとアガルものですが、なんのその、笑顔を振りまき堂々と歌い始めました。彼女はプレッシャーを前向きに変える天性を持っているようです。唄の方も、以前に増して声も通るようになりライブを重ねる度に上手くなっ

ています。拍手も多く、盛り上がり、最後の曲(Candy)では手拍子も出るほどでした。それと演奏の合間にしゃべるMCがすごく上手くなりました。MCにおいては、関西でもトップクラスです。團さんには歌の方ももっと上手くなってもらい、我々は聴きに行くことで応援したいものです。

2月は團裕子さん月間でしたが、3月は小川理子さん(塾工学部卒)特集です。

♪3月24日(土)15時～「酒心館」ライブ
この日は、ライブ終了後に会食を予定しています。



♪3月25日(日)16時～ 松方ホール
ビジターの方、ぜひご参加ください。詳細は、KKJC
メンバーまたは堀・垣屋までお問い合わせください。

イーゼル会

《今月の絵》



出口 英雄 (昭37工)

ゴルフ同好会

《関西婦人三田会 (KLA) とジョイントコンペ 開催について (予告) 》

開催日：5月8日(火)

場 所：タイガースゴルフクラブ

兵庫県加東市新定 275-144

(中国自動車道 東条 IC より 7分)

恒例のKLAとのジョイントコンペを開催します。
老いも若きも男も女も初夏の1日白球を追って大
いに楽しみましょう。奮ってご参加ください。

詳細は4月号に……。 (世話人：近藤 正)

会員の輪

《入会のご挨拶にかえて》

鶴井 美根子 (平4文・7経)

1934年生まれの私の世代は、その成長過程にお
ける節目と、わが国の歴史の転換点が重なってい
るかに思へます。世の中のおよそ見るべきものは
見尽くして、還暦を前にしたとき、又も、未曾有
の少子高齢社会が待ち受けておりました。歴史に

学ぶものがない社会のたたき台となって、人生を
終えることになる筈です。それは如何なる社会で
しょうか。そこで「経済学」をもって考えること
を思いつきました。

親を見送り、子供達の結婚を見届け、孫を持つ
喜びも知りました。ある日夫が申します、「音楽会
でも旅行でも存分に」と。しかしその、夫はまだ
働いていました。これらの楽しみはもう少し先に
延ばせる。私は、迷わず三田山上へ赴き、学士入
学を申し込みました。前述の論旨をしたためて。

通常、学士入学の修行年限は2年ですが、経済
学部は3年を要することが多いとか。日吉と三田
の掛け持ちはきついから、よくよく考えるよう
にと言われ、面接室をあとにしました。数日後、聴
講の申し込みをしようと参りますと、学士入学合
格者に私の番号がありました。

一日も休まず、終日興味の赴くまま受講しまし
た。そこは主婦の感覚です。授業料を無駄にした
くないという気持ちもあったでしょうが、心を躍
らせて通いました。日吉の銀杏並木、三田の黄落
のエントランス。

平成7年1月17日、「お母さん神戸が燃えてい
る」と叫ぶ次女の電話を振り切り、いつもの道を
三田へ急ぎました。「公共経済学」の卒業試験の日
でした。「京阪神に身寄りのある者は申し出よ。」
とのアナウンスです。私は西宮に長女一家、神戸
には永らく不在の自宅がありました。しかしその
時、万年筆のインクを確かめたのを覚えています。
良い成績で卒業しなければならないというプレッ
シャーが無意識にあったのでしょうか、突発性難
聴に見舞われ、卒業論文「終の住処と地域社会」
は意気込みに反する不本意なものでした。残念で
す。

私の還暦を祝って下さったゼミ仲間や留学生達
とは、今も交流しています。夫と二人趣味三昧の
神戸の日々に、しみじみ思います。慶應大学を抜
きにして古希を過ぎてからの幸せは語れないと。
神戸慶應倶楽部の皆様よろしくお願いたします。

《入会ご挨拶》

杉本 正昭 (昭39商)

はじめまして。このたび入会させていただきました杉本正昭です。

入会のきっかけはKKJCの世話人をされている近藤
正さんから同期の誼みでゴルフや飲み会そしてジ
ャズライブにもよく誘っていただき、音楽の嗜み
が無い私もKKJCのアットホームな雰囲気魅せら

れて家内と一緒にジャズを楽しませていただくようになった次第であります。

昭和39年に商学部を卒業して関西ペイントに勤務し平成16年に40年間の現役生活を終えました。地元の甲南高校でホッケーを始め、塾ホッケー部の歴史と伝統に憧れ、大学時代も体育会ホッケー部に所属し所謂「体育会潰け」の4年間を過ごしました。塾ホッケー部は1906年(明治39年)にアイルランドから来日した宣教師ウィリアム・グレー氏によって創立され日本のホッケーのルーツ校として昨年創部100周年を迎えました。安西塾長ご出席のもと記念式典が盛大に行われ、私もOBとして参列し大変感動したことは言うまでもありません。

体育会での特別の思い出は大学2年(昭和36年)の冬休みに創部55周年の記念事業として諸先輩のご支援により香港、マカオ遠征に参加したことです。当時は神戸港からオランダの貨客船で船酔いに耐えながら占領下の沖縄を経由して片道5日間の航海でした。現地での滞在期間を含めて約1ヶ月余の遠征は何物にも代えがたい青春の宝物(思い出)です。

もう一つの宝物は塾体育会の最功労者のお一人である小泉信三先生が残された名言「スポーツが与える三つの宝」を得たことです。すなわち「練習は不可能を可能とする」「フェアプレーの精神」「生涯の友を得る」という含蓄の深い教訓であり、この名言は社会人になってからも肝に銘じておりました。学生としての本分である学業については内心忸怩たる思いがありますが塾で得た数々の宝物のお蔭で現役時代も無事に勤め終えたことを感謝しております。

このコーナー、は新しく入会された方の自己紹介やご無沙汰会員の近況報告等を紹介する交流広場です。(編集部)

★新聞記事を見つけました!

『日本初の西洋式簿記教科書を母校に寄贈…』
現存する貴重な書物を県立神戸商業高校(垂水区)のOBがインターネットで発掘して購入…という記事を見つけました。(朝日・神戸で1月に・・・)
◎「帳合之法」(4巻)「略式帳合法附録」他全18冊。福澤諭吉が翻訳した明治初期の木版の和とじ本は珍しいとのこと。「古来日本国中に於いて、学者は必ず貧乏であり、金持ちは必ず無学なり・・・」という文章からはじまっている。

～～3月度例会のお知らせ～～

日時：3月14日(水) 18:30～

場所：東天閣

神戸市中央区山本通3-14-18

(Tel: 078-231-1351)

会費：男性 8,000円

女性 6,000円

毎年3月は皆さまお待ちかねのグルメ例会です。中神 安邦会員(昭39文)のご好意による格別の豪華中国王宮料理をお楽しみください。

～～今後の行事予定～～

4月3日(火) 慶早ゴルフ 廣野ゴルフ倶楽部
(詳細は2月号をご覧ください。)

4月19日(木) 4月度例会 倶楽部ルーム

講師：東 靖人氏(塾高出身)

(姫路中央病院副院長兼附属PET画像センター所長)

5月29日(火) 2007年度総会 蘇州園

◎時間、会費等の詳細につきましては、次号BRBでお知らせいたします。

◎同好会の日程につきましては、各世話人にお問い合わせ下さい。

～事務局よりお願い～

- ◎ 例会等にご出席の会員様はお食事等の準備の都合がありますので、事前に事務局までお申し込みをお願いします。なお、お申し込み後に連絡なしで当日欠席された場合はキャンセル料を頂くことがございますのでご注意ください。
- ◎ 住所・電話番号・メールアドレスの変更がある場合は、必ず事務局にお知らせください。
- ◎ 4月は年会費の振込月になっています。自動引落しの会員様は4月27日(金)に会費の引落としがございますので、口座及び残高の確認をお願いします。尚、倶楽部年会費が2年間未納で3月末までに入金がない場合には退会となりますのでご注意ください。

普段、会の行事に出席できない方も誌面に登場して参加してください。皆さんの投稿をお待ちしています。堀 友子 tomoko@1968.jukuin.keio.ac.jp

編集後記
○大阪城公園の梅林に行って来ました。昨今の今頃は、二分咲きでしたが、今年はまだ散り始めています。桜は三月中かなと・・・
○近所の歯科医院の待合室に緒方洪庵のことを書いた記述が張り出されています。ここの先生も塾の関係の方なのかと聞いてみよう・・・
(ほ)